夕刊　<第三種郵便物認可>

早くよくなれ 明美ちゃん

鈴木厚相がお見舞い

心臓病の追放を約束

「だいじょうぶ、早くよくなるよ」と明美ちゃんを見舞う鈴木厚相（右）明美ちゃんのうしろは神原博士＝東京女子医大病院で

「明美ちゃん、早くよくなるんだよ」鈴木厚相は明美ちゃんにこう激励の言葉をかけて二十日午前十時四十分ごろ、東京女子医大の心臓血圧研究所を退院したが、入院中の病院の少女、伊藤知明美ちゃんへのお見舞いをはじめとしたあたたかい心臓病を救うための努力を約束した。

鈴木厚相の視察は「明美ちゃん基金」の呼びかけ、「心臓病のこどもを守る会」の運動などを心臓病から救えというほかの声が高まるなかで行なわれたが、厚相は「手術や療養を受けられない人はいるが、費用が高いのと施設の不足などが原因だ。手術すればなおるとわかりながら残念なことだ。心臓病のことも真剣についてきんなければならない。厚生省では心臓病の医療を補助する方法を講ずるとともに、さらにこの日の記者会見で「明美ちゃん基金」などに対し、国の施策の盛り上がりにこたえ、厚生省でも、こどもの心臓病克服のための全力をあげることにした。育成医療の手当てをふやし、育成医療を受ける病院もかんたんにしてより多くの人が利用できるようにしたい」とのべた。

厚相らは、まず十時四十分ごろ、明美ちゃんの病室を訪れ、神原博士の案内で明美ちゃんのベッドのそばに近づいた。厚相は「明美ちゃん、早くよくなるんだよ」と声をかけ、明美ちゃんの手をにぎりしめた。明美ちゃんは、はにかんで下を向いていたが、やがてニッコリしてうなずいた。

明美ちゃんは栃木県中郷小学校で二十一日ぶりに学校を再開するが、神原教授は「人前にでるとまた刺激を受けるので、もう少し静かにしておいた方がよい」と話していた。

厚相は、手術では輸血をつくしてもらいたい」といっている。

鈴木厚相は視察の後に記者会見を